

学校コード F117110105393

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更  
注1**事前相談**

注2

金沢大学大学院 自然科学研究科 電子情報通信学専攻 (博士前期課程)

**【事前相談】 設置に係る設置計画履行状況報告書**  
(改正前大学設置基準適用)国立大学法人金沢大学  
令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	企画評価室
職名・氏名	センモツヨクインコジマ オオト 専門職員 小島 直人
電話番号	076-264-5020
(夜間)	076-264-5020
e-mail	g1kikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 自然科学研究科

＜電子情報通信学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	39

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名

金沢大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒920-1192  
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ワダ タカシ) 和田 隆志 (令和4年4月)		
学部長	(イイヤマ コウイチ) 飯山 宏一 (令和4年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)  
令和5年度に報告する内容 → (5)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
自然科学研究科 電子情報通信学専攻 修士(工学) 修士(学術)	工学関係	2年	63人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	126人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1.12倍	-	1.11倍	-	
	志願者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )					
	受験者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )					
	合格者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )					
B	入学者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )					
	入学定員超過率 B/A																		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様してください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	65 [ 8 ] [ 9 ]	9 [ 9 ] [ 10 ]	68 [ 10 ] [ - ]	- [ - ] [ - ]								
2年次			[ ] ( )	- [ - ] [ - ]	- [ - ] [ - ]	64 [ 7 ] [ 9 ]	9 [ 9 ] [ - ]						
3年次					[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] [ - ]	- [ - ] [ - ]	- [ - ] [ - ]	- [ - ] [ - ]	
4年次							[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] [ - ]	- [ - ] [ - ]	- [ - ] [ - ]	- [ - ] [ - ]	
計	[ ] ( )	74 [ 17 ] [ - ]	141 [ 26 ] [ - ]										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	74 人	1 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	1 人	1 人	[進路変更(1人)]
令和5年度	141 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		1 人		1 人	1 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{74} = \boxed{1.35} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{141} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
応用科目	電子システム	デバイスプロセス工学A	1①	1								
		デバイスプロセス工学B	1②	1		1						
		表面・界面工学A	1③	1	1							
		表面・界面工学B	1④	1	1	1						
		応用プラズマ工学A	1③	1	1							
		応用プラズマ工学B	1④	1	1							
		プラズマ流体解析入門A	1①	1	1							
		プラズマ流体解析入門B	1②	1	1							
		宇宙機力学入門A	1③	1	1	1						
		宇宙機力学入門B	1④	1	1	1						
		小計(10科目)	—	0	10	0	3	3	0	0	0	
		情報システム	テクノロジトレンド工学A	1①	1	1						
			テクノロジトレンド工学B	1②	1	1						
			ミクストシグナルLSI工学A	1①	1	1						
ミクストシグナルLSI工学B	1②		1	1								
映像情報処理学A	1③		1	1	1							
映像情報処理学B	1④		1	1	1							
情報セキュリティ特論	1①・②		2	1	1							
圏論と関数型プログラミングA	1③		1	1	1					1		
圏論と関数型プログラミングB	1④		1	1	1					1		
小計(9科目)	—		0	10	0	3	2	0	0	0		
通信システム	電磁波工学特論A	1③	1	1	1							
	電磁波工学特論B	1④	1	1	1							
	電磁波計測工学特論	1①・②	2	1	1							
	光波工学A	1①	1	1	1							
	光波工学B	1②	1	1	1							
	量子電子工学A	1③	1	1	1							
	量子電子工学B	1④	1	1	1							
	情報ネットワーク特論A	1③	1	1	1							
	情報ネットワーク特論B	1④	1	1	1							
	小計(9科目)	—	0	10	0	2	4	0	0	0		
知能システム	解析特論A	1①	1	1	1							
	解析特論B	1②	1	1	1							
	データマイニング論A	1①	1	1	1							
	データマイニング論B	1②	1	1	1							
	並列計算理論A	1①	1	1	1							
	並列計算理論B	1②	1	1	1							
知能ソフトウェア理論A	1③	1	1	1								
知能ソフトウェア理論B	1④	1	1	1								
小計(8科目)	—	0	8	0	2	2	0	0	0			
課題研究	ゼミナール・演習	1~2通	4		15	16	1	3				
	課題研究	1~2通	10		15	16	1	3				
	小計(2科目)	—	14	0	0	15	16	1	3	0		
サステナブル理工学プログラム	ラボローテーション	1③		1	1					4		
	小計(1科目)	—	0	0	1	1	0	0	0	4		
	宇宙理工学分野	衛星システム	1①・②		2	1						
		衛星設計開発A	1③		1	1					1	
		衛星設計開発B	1④		1	1					1	
		宇宙物理学a	1③		1	1					1	
		宇宙物理学b	1④		1	1					1	
	小計(5科目)	—	0	0	6	1	0	0	0	1		
	環境・エネルギー分野	環境・エネルギー技術英語基礎	1①		1	1					1	
		総合日本語	1③		1	1					1	
		環境・エネルギー技術海外研修	1①・②		2	1					1	
		環境・エネルギー技術インターンシップ	1①・②		2	1					1	
		環境・エネルギー技術英語応用	2③		1	1					1	
		エネルギー・環境プログラム序論	1①		1	1					1	
小計(6科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	6			
数理・ナノ物質理工学分野	数理・ナノ物質理工学概論	1①・②		2	1					1		
	数理物質科学概論	1②		1	1					1		
	ナノ化学概論	1②		1	1					1		
	ナノ物質科学概論	1②		1	1					1		
	計算ナノ科学a	1③		1	1					1		
	計算ナノ科学b	1④		1	1					1		
	物質創成化学I	1②		1	1					1		
	マテリアルプログラム序論	1②		1	1					1		
	小計(8科目)	—	0	0	9	0	0	0	0	4		
	理工学分野	超スマート社会理工学概論A	1①		1	1					1	
超スマート社会理工学概論B		1②		1	1					1		
メカニズムの運動解析と設計A		1③		1	1					1		
実世界ロボティクス特論A		1①		1	1					1		
インテリジェントロボットA		1③		1	1					1		
小計(5科目)	—	0	0	5	0	0	0	0	4			
理工学分野	フィールド生物学	1③		1	1					1		
	地球環境フィールド理工学概論	1③		1	1					1		
	社会基盤工学概論	1②		1	1					1		
	ゲノム生命システム学	1②		1	1					1		
	生命構造機能システム学A	1①		1	1					2		
	地球環境進化学A	1①		1	1					2		
	フィールド実習A	1②		1	1					15		
	都市の地震防災A	1③		1	1					1		
	地球環境のデータ解析学	1④		1	1					1		
	小計(9科目)	—	0	0	9	0	0	0	0	22		
合計(127科目)	—	15	99	38	15	16	1	3	0	53		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
応用科目	電子システム	デバイスプロセス工学A	1①	1								
		デバイスプロセス工学B	1②	1		1						
		表面・界面工学A	1③	1	1							
		表面・界面工学B	1④	1	1	1						
		応用プラズマ工学A	1③	1	1							
		応用プラズマ工学B	1④	1	1							
		プラズマ流体解析入門A	1①	1	1							
		プラズマ流体解析入門B	1②	1	1							
		宇宙機力学入門A	1③	1	1	1						
		宇宙機力学入門B	1④	1	1	1						
		小計(10科目)	—	0	8	0	3	2	0	0	0	
		情報システム	テクノロジトレンド工学A	1③	1	1	1					
			テクノロジトレンド工学B	1④	1	1	1					
			ミクストシグナルLSI工学A	1①	1	1	1					
ミクストシグナルLSI工学B	1②		1	1	1							
映像情報処理学A	1③		1	1	1							
映像情報処理学B	1④		1	1	1							
情報セキュリティ特論	1①		2	1	1							
圏論と関数型プログラミングA	1③		1	1	1					1		
圏論と関数型プログラミングB	1④		1	1	1					1		
小計(9科目)	—		0	10	0	3	1	0	0	0	1	
通信システム	電磁波工学特論A	1③	1	1	1							
	電磁波工学特論B	1④	1	1	1							
	電磁波計測工学特論	1①	2	1	1							
	光波工学A	1①	1	1	1							
	光波工学B	1②	1	1	1							
	量子電子工学A	1③	1	1	1							
	量子電子工学B	1④	1	1	1							
	情報ネットワーク特論A	1③	1	1	1							
	情報ネットワーク特論B	1④	1	1	1							
	小計(9科目)	—	0	10	0	1	5	0	0	0		
知能システム	解析特論A	1①	1	1	1							
	解析特論B	1②	1	1	1							
	データマイニング論A	1①	1	1	1							
	データマイニング論B	1②	1	1	1							
	並列計算理論A	1①	1	1	1							
	並列計算理論B	1②	1	1	1							
知能ソフトウェア理論A	1③	1	1	1								
知能ソフトウェア理論B	1④	1	1	1								
小計(8科目)	—	0	8	0	2	2	0	0	0			
課題研究	ゼミナール・演習	1~2通	4		14	15	1	1		3		
	課題研究	1~2通	10		14	15	1	1		3		
	小計(2科目)	—	4	10	0	14	15	1	1	0	3	
サステナブル理工学プログラム	ラボローテーション	1~2通	10		14	15	1	1		3		
	小計(1科目)	—	0	10	0	14	15	1	1	0	3	
	宇宙理工学分野	衛星システム	1①・②		2	1					2	
		衛星設計開発A	1③		1	1					1	
		衛星設計開発B	1④		1	1					2	
		宇宙物理学a	1③		1	1					1	
		宇宙物理学b	1④		1	1					1	
	小計(5科目)	—	0	0	6	0	1	0	0	0	3	
	環境・エネルギー分野	環境・エネルギー技術英語基礎	1①		1	1					1	
		総合日本語	1③		1	1					1	
		環境・エネルギー技術海外研修	1①・②		2	1					1	
		環境・エネルギー技術インターンシップ	1①・②		2	1					1	
		環境・エネルギー技術英語応用	2③		1	1					1	
		エネルギー・環境プログラム序論	1①		1	1					6	
小計(6科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	10		
数理・ナノ物質理工学分野	数理・ナノ物質理工学概論(未開講)	1①		2	1					1		
	数理物質科学概論(未開講)	1②		1	1					1		
	ナノ化学概論(未開講)	1②		1	1					1		
	ナノ物質科学概論(未開講)	1②		1	1					1		
	計算ナノ科学a	1③		1	1					2		
	計算ナノ科学b	1④		1	1					2		
	物質創成化学I	1②		1	1					1		
	マテリアルプログラム序論	1②		1	1					6		
	小計(8科目)	—	0	0	9	1	0	0	0	0	4	
	理工学分野	超スマート社会理工学概論A(未開講)	1①		1	1					1	
超スマート社会理工学概論B(未開講)		1②		1	1					1		
メカニズムの運動解析と設計A		1③		1	1					1		
実世界ロボティクス特論A		1①		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
修了要件及び履修方法											
<p>(修了要件) 2年以上在学し、31単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法) 次の科目を含み31単位以上を修得すること。 ①研究科共通科目 1単位必修、2単位選択必修 ②基礎科目 2単位以上選択 ③ゼミナール・演習、課題研究 14単位必修</p> <p>&lt;サステナブル理工学プログラム&gt; ・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)～(5)の分野から希望するいずれか1つのプログラムを履修することができる。 ・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。 ・プログラム共通科目には、大学院GS科目の「数理・データサイエンス論A」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。 ・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。</p> <p>(1)宇宙理工学分野 プログラム共通科目から「ラボローテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「宇宙・プラズマ物理学」、基礎科目の「通信工学特論A」、応用科目(通信システム)の「電磁波工学特論A」及び「電磁波工学特論B」を含む。</p> <p>(2)環境・エネルギー理工学分野 プログラム共通科目から「ラボローテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位(外国人留学生は8単位)以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。</p> <p>(3)数理・ナノ物質理工学分野 プログラム共通科目から「ラボローテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「凝縮系物理学基礎A」及び応用科目(電子システム)の「デバイスプロセス工学A」を含む。</p> <p>(4)超スマート社会理工学分野 プログラム共通科目から「ラボローテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には応用科目(情報システム)の「テクノロジトレンド工学A」及び「テクノロジトレンド工学B」、応用科目(知能システム)の「データマイニング論A」、「データマイニング論B」及び「知能ソフトウェア理論A」を含む。</p> <p>(5)生命・フィールド理工学分野 プログラム共通科目から「ラボローテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤工学概論」を含む7単位以上を修得すること。</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
修了要件及び履修方法											
<p>(修了要件) 2年以上在学し、32単位(ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究調査」を選択した者は、34単位)以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験(又は大学院学則に規定する試験及び審査)に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法) 次の科目を含み32単位(ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究調査」を選択した者は、34単位)以上を修得すること。 ①研究科共通科目 2単位必修、2単位選択必修 ②基礎科目 2単位以上選択 ③ゼミナール・演習、課題研究又は博士研究調査 14単位必修</p> <p>&lt;サステナブル理工学プログラム&gt; ・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)～(5)の分野から希望するいずれか1つのプログラムを履修することができる。 ・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。 ・プログラム共通科目には、大学院GS基礎科目の「数理・データサイエンス・AI基礎」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。 ・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。</p> <p>(1)宇宙理工学分野 プログラム共通科目から「異分野研究調査I」、「異分野研究調査II」及び「数理・データサイエンス・AI基礎」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「宇宙・プラズマ物理学A」、基礎科目の「通信工学特論A」、応用科目(通信システム)の「電磁波工学特論A」及び「電磁波工学特論B」を含む。</p> <p>(2)環境・エネルギー理工学分野 プログラム共通科目から「異分野研究調査I」、「異分野研究調査II」及び「数理・データサイエンス・AI基礎」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。</p> <p>(3)数理・ナノ物質理工学分野 プログラム共通科目から「異分野研究調査I」、「異分野研究調査II」及び「数理・データサイエンス・AI基礎」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「凝縮系物理学基礎A」及び応用科目(電子システム)の「デバイスプロセス工学A」を含む。</p> <p>(4)超スマート社会理工学分野 プログラム共通科目から「異分野研究調査I」、「異分野研究調査II」及び「数理・データサイエンス・AI基礎」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には応用科目(情報システム)の「テクノロジトレンド工学A」及び「テクノロジトレンド工学B」、応用科目(知能システム)の「データマイニング論A」、「データマイニング論B」及び「知能ソフトウェア理論A」を含む。</p> <p>(5)生命・フィールド理工学分野 プログラム共通科目から「異分野研究調査I」、「異分野研究調査II」及び「数理・データサイエンス・AI基礎」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤工学概論」を含む7単位以上を修得すること。</p>											

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数				専任教員等の配置				兼任者数		
			必修	選択	自由	教養	専任	講師	助教	助手			
研究科共通科目	真分野研究探索	1①	1									8	
	研究者倫理	1①	1									1	
	知識集約型社会とデータサイエンス	1③	1		1							1	
	次世代の先端科学技術	1②	1									1	
	スマート創成科学	1③	1									1	
	人間と社会の課題	1②	1									1	
	技術経営論A	1①	1									1	
	技術経営論B	1②	1									1	
	ヘルスケア・イノベーション	1③	1									1	
	破壊的イノベーションに向けた技術経営論	1③	1									1	
	技術マネジメント基礎論A	1①	1									1	
	技術マネジメント基礎論B	1②	1									1	
	イノベーション方法論A	1①	1		1							1	
	イノベーション方法論B	1②	1		1							1	
	数理・データサイエンス論A	1③	1									1	
	数理・データサイエンス論B	1③	1									1	
	数理科学a	1①	1									1	
	数理科学b	1②	1									1	
	理論物理学基礎a	1①	1									1	
	生物・分子物理学a	1①	1									1	
	凝縮系物理学基礎a	1①	1									1	
	宇宙・プラズマ物理学a	1①	1									1	
	振動・波動物理学a	1①	1									1	
	計算理学概論a	1①	1									1	
	計算理学概論b	1②	1									1	
	先端物質化学概論A	1③	1									1	
	先端物質化学概論B	1④	1									1	
	応用物質化学概論A	1③	1									1	
	応用物質化学概論B	1④	1									1	
	生物科学基礎A	1①	1									1	
	生物科学基礎B	1②	1									1	
	バイオ工学特論A	1①	1									1	
	バイオ工学特論B	1②	1									1	
	地球惑星科学基礎A	1①	1									1	
	地球惑星科学基礎B	1②	1									1	
	環境・エネルギー工学総論A	1③	1									1	
	環境・エネルギー工学総論B	1④	1									1	
	小計 (37科目)	—	—	1	36	0	4	0	0	0	0	0	27
	大学院北陸科学前先端の学	連携科目	1②		2								1
		小計 (1科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
	研究科目	創成研究 I	1①・②	2									1
		創成研究 II	1③・④	2									1
	小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	
	流国	国際プレゼンテーション演習	1①・②	2									1
		国際研究インターンシップ	1通	2		1							1
目交	小計 (2科目)	—	0	4	0	1	0	0	0	0	0	1	
基礎科目	離散力学系入門A	1①	1			1							
	離散力学系入門B	1②	1			1							
	非線形波動概論A	1①	1		1								
	非線形波動概論B	1②	1		1								
	トポロジー概論A	1①	1		1								
	トポロジー概論B	1②	1		1								
	適応信号処理A	1③	1				1						
	適応信号処理B	1④	1				1						
	暗号の数理A	1①	1		1								
	暗号の数理B	1②	1		1								
	SoC設計基礎論A	1①	1			1							
	SoC設計基礎論B	1②	1			1							
	通信工学特論A	1①	1		1								
	通信工学特論B	1②	1		1								
	固体物性評価基礎論	1②	1		1								
	次世代電気エネルギー変換概論A	1①	1		2								
	次世代電気エネルギー変換概論B	1②	1		1								
	宇宙機力学入門A	1③	1			1							
	宇宙機力学入門B	1④	1			1							
	自然環境計測データ工学A	1①	1			1							
	自然環境計測データ工学B	1②	1			1							
	科学技術英語特論A	1③	1			1							
	科学技術英語特論B	1④	1			1							
	企業体験実習	1通	2		1								
小計 (24科目)	—	0	25	0	8	7	1	0	0	0			
応用科目	電子システム	1①	1			1							
	デバイスプロセス工学A	1②	1			1							
	デバイスプロセス工学B	1③	1		1								
	表面・界面工学A	1④	1			1							
	表面・界面工学B	1③	1		1								
	応用プラズマ工学A	1④	1		1								
	応用プラズマ工学B	1①	1		1								
	プラズマ流体解析入門A	1①	1		1								
	プラズマ流体解析入門B	1②	1		1								
	小計 (8科目)	—	0	8	0	3	2	0	0	0	0		
情報システム	テクノロジトレンド工学A	1③	1		1								
	テクノロジトレンド工学B	1④	1		1								
	ミクストシグナルLSI工学A	1①	1		1								
	ミクストシグナルLSI工学B	1②	1		1								
	映像情報処理学A	1③	1			1							
	映像情報処理学B	1④	1			1							
	情報セキュリティ特論	1①	2		1								
	圏論と関数型プログラミングA	1③	1									1	
	圏論と関数型プログラミングB	1④	1									1	
小計 (9科目)	—	0	10	0	3	1	0	0	0	0	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任 負担			
			必修	選択	自由	教養	専任	助	助	手				
応用科目	電磁波工学特論A	1③		1		1								
	電磁波工学特論B	1④		1		1	1							
	電磁波計測工学特論	1①		2		1								
	光波工学A	1①		1		1								
	光波工学B	1②		1		1								
	量子電子工学A	1③		1		1								
	量子電子工学B	1④		1		1								
	情報ネットワーク特論A	1③		1		1								
	情報ネットワーク特論B	1④		1		1								
	小計(9科目)	—	0	10	0	1	5	0	0	0				
	知能システム	解析特論A	1①		1		1							
		解析特論B	1②		1		1							
		データマイニング論A	1①		1		1							
		データマイニング論B	1②		1		1							
並列計算理論A		1①		1		1								
並列計算理論B		1②		1		1								
知能ソフトウェア理論A		1③		1		1								
知能ソフトウェア理論B		1④		1		1								
小計(8科目)	—	0	8	0	2	2	0	0	0					
課題科目	ゼミナール・演習	1~2通	4			15	16	1	2					
	課題研究	1~2通		10		15	16	1	2					
小計(2科目)	—	4	10	0	15	16	1	2	0					
読研博士	博士研究調査	1~2通		10		15	16	1	2	0				
小計(1科目)	—	0	10	0	15	16	1	2	0					
サステナブル理工学プログラム	宇宙工学分野	1①・②			2								2	
	衛星システム	1③				1								
	衛星設計開発A	1④					1						2	
	衛星設計開発B	1③											1	
	宇宙物理学a	1④											1	
	宇宙物理学b	1④											1	
	小計(5科目)	—	0	0	6	0	1	0	0	0	0		3	
	環境工学分野	環境・エネルギー技術英語基礎	1①			1								1
		総合日本語	1③				1							1
		環境・エネルギー技術海外研修	1①・②			2								1
		環境・エネルギー技術インターンシップ	1①・②			2								1
		環境・エネルギー技術英語応用	2③			1								1
		エネルギー・環境プログラム序論	1①			1								4
	小計(6科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	0		8	
数理・ナノ物質理工学分野	数理・ナノ物質理工学概論	1①			2								1	
	数理解物科学概論	1②			1								1	
	ナノ化学概論	1②			1								1	
	ナノ物質科学概論	1②			1	1							1	
	計算ナノ科学a	1③			1								1	
	計算ナノ科学b	1④			1								1	
	物質創成化学I	1②			1								1	
	マテリアルプログラム序論	1②			1								1	
小計(8科目)	—	0	0	9	1	0	0	0	0	0		4		
理工学専攻	超スマート社会理工学概論A(未開講)	1①			1								1	
	超スマート社会理工学概論B(未開講)	1②			1								1	
	メカニズムの運動解析と設計A	1③			1								1	
	実世界ロボティクス特論A	1①			1								1	
	インテリジェントロボットA	1③			1								1	
小計(5科目)	—	0	0	5	0	0	0	0	0	0		4		
生命・フィールド理工学分野	フィールド生物学	1④			1								1	
	地球環境フィールド理工学概論	1③			1								1	
	社会基盤工学概論	1②			1								1	
	ゲノム生命システム学	1②			1								1	
	生命構造機能システム学A	1①			1								2	
	地球環境進化化学A	1③			1								1	
	フィールド実習A	1②			1								17	
	都市の地震防災A	1③			1								1	
	地球環境のデータ解析学	1④			1								1	
小計(9科目)	—	0	0	9	0	0	0	0	0	0		24		
合計(136科目)	—	5	127	37	15	16	1	2	0	0		64		

修了要件及び履修方法

(修了要件)

2年以上在学中、32単位(ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究調査」を選択した者は、34単位)以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験(又は大学院学期別に規定する試験及び審査)に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学中れば足りるものとする。

(履修方法)  
次の科目を含み32単位(ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究調査」を選択した者は、34単位)以上を修得すること。

- ① 研究科共通科目 1単位必修、3単位選択必修
- ② 基礎科目 2単位以上選択
- ③ ゼミナール・演習、課題研究又は博士研究調査 14単位必修

<サステナブル理工学プログラム>

・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)~(5)の分野から希望するいずれか1つのプログラムを履修することができる。

・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。

・プログラム共通科目には、大学院GS基礎科目の「数理・データサイエンス論A」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。

・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。

(1) 宇宙理工学分野

プログラム共通科目から「真分野研究調査」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「宇宙・プラズマ物理学a」、基礎科目の「通信工学特論A」、応用科目(衛星システム)の「電磁波工学特論A」及び「電磁波工学特論B」を含む。

(2) 環境・エネルギー理工学分野

プログラム共通科目から「真分野研究調査」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。

(3) 数理・ナノ物質理工学分野

プログラム共通科目から「真分野研究調査」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「凝縮系物理学基礎a」及び応用科目「電子システム」の「デバイスプロセス工学A」を含む。

(4) 超スマート社会理工学分野

プログラム共通科目から「真分野研究調査」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には応用科目(情報システム)の「テクノロジトレンド工学A」及び「テクノロジトレンド工学B」、応用科目(知能システム)の「データマイニング論A」、「データマイニング論B」及び「知能ソフトウェア理論A」を含む。

(5) 生命・フィールド理工学分野

プログラム共通科目から「真分野研究調査」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤工学概論」を含む7単位以上を修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。**
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和4年度】**

- 【大学院GS基盤科目】
- ・ 全学的な大学院教育改革に伴い、研究科共通科目の区分名を「大学院GS科目」から「大学院GS基盤科目」に変更。
  - ・ 全学的な大学院教育改革に伴い、6科目(「知識集約型社会とデータサイエンス」、「次世代の先端科学技術」、「ヘルスケア・イノベーション」、「環境的イノベーションに向けた技術経営論」)を新設し、担当教員数をそれぞれ「兼任1」に設定。
  - ・ 全学的な大学院教育改革に伴い、授業科目名を「バンチャー・ビジネス論A、B」を「イノベーション方法論A、B」に、「技術経営論入門A、B」を「技術経営論A、B」、「技術マネジメント基礎論A、B」を「技術マネジメント基礎論A、B」に変更。
  - ・ 全学的な大学院教育改革に伴い、サステナブル理工学プログラムの科目であった「ラボローテーション」の履修対象を専攻全員とするため、授業科目名を「異分野研究探査」、科目区分を大学院GS基盤科目に変更し、担当教員数を「専任1」及び「兼任5」に設定。
  - ・ 全学的な大学院教育改革に伴う新規科目の追加、選択区分の変更等により、「技術経営(MOT)コースに関する科目」の区分を削除。
  - ・ 授業内容をより明確にするため、授業科目名を「バイオ工学基礎A、B」から「バイオ工学特論A、B」に変更。
  - ・ 開講時期の見直しにより、「連携科目」の開講学期を「1①・②」から「1②」に変更。
  - ・ 講義内容の見直しにより、「宇宙機力学入門A」、「宇宙機力学入門B」の科目区分を「応用科目」から「基礎科目」に変更。
  - ・ 教育内容を豊富化するため、「自然環境計測データ工学A」、「自然環境計測データ工学B」を追加開講。同科目の専任教員等の配置を「准教授1」に変更。
  - ・ 科目担当教員が長期海外出張のため、「テクノロジトレンド工学A」、「テクノロジトレンド工学B」の開講時期を第1、第2クオータ開講から、第3、第4クオータに変更。
  - ・ 教員の異動により、「圏論と関数型プログラミングA」、「圏論と関数型プログラミングB」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
  - ・ 教員の異動により、「セミナー・演習」の専任教員等の配置を「教授15」、「准教授16」、「講師1」、「助教3」から「教授15」、「准教授16」、「講師1」、「助教2」に変更。
  - ・ 教員の異動により、「課題研究」の専任教員等の配置を「教授15」、「准教授16」、「講師1」、「助教3」から「教授15」、「准教授16」、「講師1」、「助教2」に変更。
  - ・ 博士論文研究基礎力審査の導入のため、「博士研究調査」の科目区分を設けるとともに、科目を新設。同科目の専任教員等の配置を「教授15」、「准教授16」、「講師1」、「助教2」に変更。
  - ・ 担当教員の変更により、「衛星システム」及び「衛星設計開発B」の担当教員数を「兼任2」から「兼任1」に変更。
  - ・ 担当教員の変更により、「エネルギー・環境プログラム序論」の担当教員数を「兼任1」から「兼任4」に変更。
  - ・ 履修計画の見直しにより、「数理・ナノ物質理工学概論」の開講学期を「1①・②」から「1①」に変更。
  - ・ 履修計画の見直しにより、「テクノロジトレンド工学A」の開講学期を「1①」から「1③」に変更。
  - ・ 履修計画の見直しにより、「テクノロジトレンド工学B」の開講学期を「1②」から「1④」に変更。
  - ・ 履修計画の見直しにより、「フィールド生物学」の開講学期を「1③」から「1④」に変更。
  - ・ 履修計画の見直しにより、「地球環境進化学A」の開講学期を「1①」から「1③」に変更。
  - ・ 教員の異動等により、「フィールド実習A」の担当教員数を「兼任15」から「兼任17」に変更。
  - ・ 全学的な大学院教育改革に伴う新規科目の追加、選択区分の変更及び博士研究基礎力調査の導入により、修了に必要な単位数を変更。

**【令和5年度】**

- ・ 全学的な大学院教育改革に伴い、「数理・データサイエンス・AI基盤」を新設し、担当教員数を「兼任1」に設定
- ・ 全学的な大学院教育改革に伴い、「異分野研究探査」を「異分野研究探査I」及び「異分野研究探査II」に、科目区分を大学院GS基盤科目に変更し、担当教員数を「教授14」、「准教授15」、「講師1」及び「助教1」に設定。
- ・ 担当教員の変更により、「トポロジー概論A」「トポロジー概論B」の担当教員数「准教授1」を「教授1」に変更。
- ・ 担当教員の変更により、「次世代電気エネルギー変換概論A」の担当教員数「教授2」を「教授3」「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の変更により、「次世代電気エネルギー変換概論B」の担当教員数「教授1」「准教授1」を「教授3」「准教授1」に変更。
- ・ 開講時期の見直しにより、「企業体験実習」の開講学期を「1通」から「1③・④」に変更。
- ・ 教員の異動により、「セミナー・演習」の担当教員数「教授15」「准教授16」「助教2」を「教授14」「准教授15」「助教1」に変更。
- ・ 教員の異動により、「課題研究」の担当教員数「教授15」「准教授16」「助教2」を「教授14」「准教授15」「助教1」に変更。
- ・ 「博士研究調査」の担当教員数「教授15」「助教2」を「教授14」「准教授15」「助教1」に変更。
- ・ 担当教員の変更により、「エネルギー・環境プログラム序論」の担当教員数「兼任4」から「兼任6」に変更。
- ・ 担当教員の変更により、「計算ナノ科学a」、「計算ナノ科学b」の担当教員数「兼任1」を「兼任2」に変更。
- ・ 担当教員の変更により、「マテリアルプログラム序論」の担当教員数「兼任1」を「兼任6」に変更。
- ・ 担当教員の変更により、「地球環境進化学A」の担当教員数「兼任1」を「兼任2」に変更。
- ・ 履修計画の見直しにより、「フィールド実習A」の開講学期を「1②」から「1①・②」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	90 科目	34 科目	127 科目	4 科目 [1]	99 科目 [9]	33 科目 [△1]	136 科目 [9]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						
4						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	数理・データサイエンス論A	1	1	専門	選択	「数理・データサイエンス・AI基盤」に発展的に変更した。
2	数理・データサイエンス論B	1	1	専門	選択	「数理・データサイエンス・AI基盤」に発展的に変更した。
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

トポロジー概論A/Bは他の専任教員が担当し、圏論と関数型プログラミングA/Bは、就任予定教員が兼任として担当するため、学生に不利益はない。「数理・データサイエンス論A/B」に関しては、本学全研究科におけるカリキュラム改正を本専攻においても反映したもので、昨今進展が著しいAIにまで学修を広げ、より内容を精選・充実した「数理・データサイエンス・AI基盤」に発展的に変更したものであり、数理・データサイエンスの内容の学修に不足が生じることはない。令和5年度入学生から適用し、オリエンテーションや履修案内にて学生に周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{127} = \boxed{1.57} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	728,946 m <sup>2</sup> <del>730,408 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	728,946 m <sup>2</sup> <del>730,408 m<sup>2</sup></del>	大学全体  センター新設のため (5)		
	運動場用地	115,740 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	115,740 m <sup>2</sup>			
	小 計	844,686 m <sup>2</sup> <del>846,148 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	844,686 m <sup>2</sup> <del>846,148 m<sup>2</sup></del>			
	そ の 他	1,718,992 m <sup>2</sup> <del>1,717,530 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1,718,992 m <sup>2</sup> <del>1,717,530 m<sup>2</sup></del>			
	合 計	2,563,678 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,563,678 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  建物増築のため (4) 建物増築のため (5)		
		284,147 m <sup>2</sup> <del>284,135 m<sup>2</sup></del> 283,999 m <sup>2</sup> (284,147 m <sup>2</sup> ) <del>(284,135 m<sup>2</sup>)</del> <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del>	0 m <sup>2</sup>  ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup>  ( 0 m <sup>2</sup> )	284,147 m <sup>2</sup> <del>284,135 m<sup>2</sup></del> 283,999 m <sup>2</sup> (284,147 m <sup>2</sup> ) <del>(284,135 m<sup>2</sup>)</del> <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del>			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 教室等用途変更・整理 のため (5)		
	183室 <del>162室</del>	307室 <del>208室</del>	946室 <del>1,180室</del>	13室 <del>11室</del> (補助職員 0人)	6室 <del>8室</del> (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員4名退職のため (5)		
	自然科学研究科 電子情報通信学専攻			31 35 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位で特定不能のため、大学全体の数量  購入・廃棄等のため (4) 購入・廃棄等のため (5)
	自然科学研究科 機械科学専攻	1,932,498 (678,510) <del>1,928,196 (680,849)</del> 1,914,343 (678,557)	34,666 (12,153) <del>34,760 (12,152)</del> 35,708 (13,079)	10,710 (9,166) <del>10,888 (9,388)</del> 10,744 (9,292)	8,376 <del>8,372</del> 8,336	10,104 <del>9,693</del> 8,986	212 373	
		(34,666 (12,153)) <del>(34,760 (12,152))</del> (35,708 (13,079))	(10,710 (9,166)) <del>(10,888 (9,388))</del> (10,744 (9,292))	8,376 <del>8,372</del> 8,336	(10,104) <del>(9,693)</del> (8,986)	(212) <del>(373)</del>		
	計	1,932,498 (678,510) <del>1,928,196 (680,849)</del> 1,914,343 (678,557)	34,666 (12,153) <del>34,760 (12,152)</del> 35,708 (13,079)	10,710 (9,166) <del>10,888 (9,388)</del> 10,744 (9,292)	8,376 <del>8,372</del> 8,336	10,104 <del>9,693</del> 8,986	212 373	
		(34,666 (12,153)) <del>(34,760 (12,152))</del> (35,708 (13,079))	(10,710 (9,166)) <del>(10,888 (9,388))</del> (10,744 (9,292))	8,376 <del>8,372</del> 8,336	(10,104) <del>(9,693)</del> (8,986)	(212) <del>(373)</del>		
	(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
	19,794m <sup>2</sup>		2,076 <del>2,194</del> 2,185	1,633,859 <del>1,640,536</del>				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	6,295m <sup>2</sup>		可動屋根付プール (1,193 m <sup>2</sup> ) 弓 道 場 ( 162 m <sup>2</sup> )					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
融合学域		年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度						
先通学類	4	55	3年次25	220	学士(学術)	1.07	-	0.97	-	-	令和3	石川県金沢市角間町						
観光デザイン学類	4	20	3年次25	190	学士(学術)	1.04	-	0.93	-	R5	令和4	同上	令和5年度入学定員変更(5)					
スマート創成科学類	4	20		35	学士(学術)	1.17	-	1.17	-	-	令和5	同上						
人間社会学域			3年次5	2769		1.02	-	1.09	1.02									
人文学類	4	138		562	学士(文学)	1.02	-	1.10	1.03	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△4) 令和4年度入学定員変更(△3)					
法学類	4	150	3年次5	645	学士(法学)	1.00	-	1.05	1.00	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△10) 令和4年度入学定員変更(△11) 令和5年度入学定員変更(△5)					
経済学類	4	131		528	学士(経済学)	1.02	-	1.08	1.03	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△4)					
学校教育学類 共同教員養成課程	4	85		170	学士(教育学)	1.02	-	1.01	-	-	令和4	同上						
地域創造学類	4	83		349	学士(地域創造学)	1.02	-	1.08	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△5)					
国際学類	4	81		330	学士(国際学)	1.02	-	1.19	1.04	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△2)					
学校教育学類	4	-		-	学士(教育学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	令和4年度学生募集停止					
理工学域			3年次40	2471		1.02	1.02	1.07	1.02									
数物科学類	4	78	3年次5	338	学士(理学)	1.01	-	1.04	1.00	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△4)					
物質化学類	4	78	3年次4	325	学士(理学・工学)	1.04	1.03	1.08	1.04	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△1)					
機械工学類	4	94	3年次10	408	学士(工学)	1.02	-	1.09	1.00	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3) 令和4年度入学定員変更(△3)					
フロンティア工学類	4	103	3年次5	437	学士(工学)	1.02	-	1.06	1.01	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3) 令和4年度入学定員変更(△4)					
電子情報通信学類	4	76	3年次7	312	学士(工学)	1.02	-	1.15	1.1	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△2)					
地球社会基盤学類	4	94	3年次7	404	学士(理学・工学)	1.02	-	1.06	1.01	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△4)					
生命理工学類	4	56	3年次2	235	学士(理学・工学)	1.02	-	1.03	1.01	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△4)					
機械工学類(旧)	4	-		-	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止					
電子情報科学類	4	-		-	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止					
医薬保健学域			2年次5	697		1.00	-	1.02	1.00	令和2 令和4	平成20	石川県金沢市宝町13-1	入学定員変更(12) ※臨時定員増継続					
医学類	6	112		300	学士(医学)	1.05	-	1.04	1.03	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(30)					
薬学類	6	65		54	学士(薬学)	1.07	-	0.98	-	-	令和3	同上						
医薬科学類	4	18			学士(生命医科)													
保健学類			3年次4	331	学士(看護学)	1.00	-	0.98	-	-	平成20	石川県金沢市小立野5-11-80	令和3年度入学定員変更(△1) 令和4年度入学定員変更(△6)					
看護学専攻	4	79		168	学士(保健学)	1.01	-	1.00	-	-	平成20	同上	令和5年度編入学定員変更(△2)					
診療放射線技術専攻	4	40	3年次3	168	学士(保健学)	1.01	-	1.01	0.98	-	平成20	同上	令和5年度編入学定員変更(△2)					
検査技術科学専攻	4	40	3年次3	75	学士(保健学)	1.09	-	0.97	-	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△5)					
理学療法学専攻	4	15	3年次5	75	学士(保健学)	1.05	-	0.92	-	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△5)					
作業療法学専攻	4	15	3年次5		学士(保健学)						平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△5)					
創薬科学類	4	-		-	学士(創薬科学)	-	-	-	-	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度学生募集停止					
大学全体	4	1726	2年次25 3年次40	7393		-	-	-	-									

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。  
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「—」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学研究科 電子情報通信学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秋田 純一 <令和4年4月> 博士(工学)
		ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B 創成研究Ⅰ 創成研究Ⅱ テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	石島 達夫 <令和4年4月> 博士(理学)
		環境・エネルギー工学総論B 次世代電気エネルギー変換概論A ※ 応用プラズマ工学A 応用プラズマ工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	猪熊 孝夫 <令和4年4月> 工学博士
		固体物性評価基礎論 ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	上野 敏幸 <令和4年4月> 博士(工学)
		次世代電気エネルギー変換概論B ※ ゼミナール・演習 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秋田 純一 <令和4年4月> 博士(工学)
		イノベーション方法論A イノベーション方法論B テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査
専	教授	石島 達夫 <令和4年4月> 博士(理学)
		環境・エネルギー工学総論B 企業体験実習 次世代電気エネルギー変換概論A ※ 応用プラズマ工学A 応用プラズマ工学B ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査
専	教授	猪熊 孝夫 <令和4年4月> 工学博士
		固体物性評価基礎論 ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査
専	教授	上野 敏幸 <令和4年4月> 博士(工学)
		次世代電気エネルギー変換概論B ※ ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秋田 純一 <令和4年4月> 博士(工学)
		イノベーション方法論A イノベーション方法論B テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査 創成研究Ⅰ 創成研究Ⅱ 異分野研究探査Ⅰ 異分野研究探査Ⅱ
専	教授	石島 達夫 <令和4年4月> 博士(理学)
		環境・エネルギー工学総論B 企業体験実習 次世代電気エネルギー変換概論A ※ 次世代電気エネルギー変換概論B ※ 応用プラズマ工学A 応用プラズマ工学B ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査 異分野研究探査Ⅰ 異分野研究探査Ⅱ
専	教授	猪熊 孝夫 <令和4年4月> 工学博士
		固体物性評価基礎論 ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査 異分野研究探査Ⅰ 異分野研究探査Ⅱ
専	教授	上野 敏幸 <令和4年4月> 博士(工学)
		次世代電気エネルギー変換概論A ※ 次世代電気エネルギー変換概論B ※ ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査 異分野研究探査Ⅰ 異分野研究探査Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	笠原 禎也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		通信工学特論A 通信工学特論B ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	蚊戸 宣幸 〈令和4年4月〉 理学博士
		解析特論A 解析特論B ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	北川 章夫 〈令和4年4月〉 工学博士
		国際研究インターンシップ ミクストシグナルLSI工学A ミクストシグナルLSI工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	田中 康規 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		プラズマ流体解析入門A プラズマ流体解析入門B 次世代電気エネルギー変換概論A ※ ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	藤解 和也 〈令和4年4月〉 理学博士
		暗号の数理A 暗号の数理B ゼミナール・演習 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	笠原 禎也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		通信工学特論A 通信工学特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	蚊戸 宣幸 〈令和4年4月〉 理学博士
		解析特論A 解析特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	北川 章夫 〈令和4年4月〉 工学博士
		国際研究インターンシップ ミクストシグナルLSI工学A ミクストシグナルLSI工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	田中 康規 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		プラズマ流体解析入門A プラズマ流体解析入門B 次世代電気エネルギー変換概論A ※ ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	藤解 和也 〈令和4年4月〉 理学博士
		暗号の数理A 暗号の数理B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	笠原 禎也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		通信工学特論A 通信工学特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	教授	蚊戸 宣幸 〈令和4年4月〉 理学博士
		解析特論A 解析特論B <b>トポロジー概論A</b> <b>トポロジー概論B</b> ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	教授	北川 章夫 〈令和4年4月〉 工学博士
		国際研究インターンシップ ミクストシグナルLSI工学A ミクストシグナルLSI工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	教授	田中 康規 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		プラズマ流体解析入門A プラズマ流体解析入門B 次世代電気エネルギー変換概論A ※ <b>次世代電気エネルギー変換概論B</b> ※ ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	教授	藤解 和也 〈令和4年4月〉 理学博士
		暗号の数理A 暗号の数理B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		表面・界面工学A ゼミナール・演習 課題研究 ナノ物質科学概論
専	教授	松谷 茂樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		非線形波動概論A 非線形波動概論B ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	満保 雅浩 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		情報セキュリティ特論 ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	三好 正人 〈令和4年4月〉 工学博士
		企業体験実習 ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論A ゼミナール・演習 課題研究 ラボローテーション 衛星システム 衛星設計開発A 衛星設計開発B
専	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A 知能ソフトウェア理論B ゼミナール・演習 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		表面・界面工学A ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査 ナノ物質科学概論
専	教授	松谷 茂樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		非線形波動概論A 非線形波動概論B ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査
専	教授	満保 雅浩 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		情報セキュリティ特論 ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査
専	教授	三好 正人 〈令和4年4月〉 工学博士
		ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査
専	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論A ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査 異分野研究探査
専	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A 知能ソフトウェア理論B ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査 知識集約型社会とデータサイエンス

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		表面・界面工学A ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査 ナノ物質科学概論 異分野研究探査I 異分野研究探査II
専	教授	松谷 茂樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		非線形波動概論A 非線形波動概論B ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査 異分野研究探査I 異分野研究探査II
専	教授	満保 雅浩 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		情報セキュリティ特論 ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査 異分野研究探査I 異分野研究探査II
専	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論A ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査 異分野研究探査I 異分野研究探査II
専	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A 知能ソフトウェア理論B ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査 知識集約型社会とデータサイエンス 異分野研究探査I 異分野研究探査II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	今村 幸祐 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		映像情報処理学A 映像情報処理学B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	尾崎 光紀 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波計測工学特論 ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	鄭 振牟 〈令和4年4月〉 Doctor of Philosophy (米国)
		圏論と関数型プログラミングA 圏論と関数型プログラミングB ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A デバイスプロセス工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	桑村 有司 〈令和4年4月〉 工学博士
		量子電子工学A 量子電子工学B ゼミナール・演習 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>衛星設計開発A</b>
専	准教授	今村 幸祐 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		映像情報処理学A 映像情報処理学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	尾崎 光紀 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波計測工学特論 ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
兼任	講師	鄭 振牟 〈令和4年4月〉 Doctor of Philosophy (米国)
		圏論と関数型プログラミングA 圏論と関数型プログラミングB
専	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A デバイスプロセス工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	桑村 有司 〈令和4年4月〉 工学博士
		量子電子工学A 量子電子工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>衛星設計開発A</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	准教授	今村 幸祐 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		映像情報処理学A 映像情報処理学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	准教授	尾崎 光紀 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波計測工学特論 ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
兼任	講師	鄭 振牟 〈令和4年4月〉 Doctor of Philosophy (米国)
		圏論と関数型プログラミングA 圏論と関数型プログラミングB
専	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A デバイスプロセス工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	准教授	桑村 有司 〈令和4年4月〉 工学博士
		量子電子工学A 量子電子工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	唐堂 由其 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		科学技術英語特論A 科学技術英語特論B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	中村 伊南沙 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		トポロジー概論A トポロジー概論B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	藤崎 礼志 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		離散力学系入門A 離散力学系入門B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	松林 昭 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		並列計算理論A 並列計算理論B ゼミナール・演習 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	唐堂 由其 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		科学技術英語特論A 科学技術英語特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	中村 伊南沙 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		トポロジー概論A トポロジー概論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	藤崎 礼志 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		離散力学系入門A 離散力学系入門B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	<b>松田 昇也</b> 〈令和4年4月〉 <b>博士(工学)</b>
		<b>自然環境計測データ工学A</b> <b>自然環境計測データ工学B</b> ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	松林 昭 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		並列計算理論A 並列計算理論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	唐堂 由其 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		科学技術英語特論A 科学技術英語特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	准教授	藤崎 礼志 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		離散力学系入門A 離散力学系入門B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	准教授	<b>松田 昇也</b> 〈令和4年4月〉 <b>博士(工学)</b>
		<b>自然環境計測データ工学A</b> <b>自然環境計測データ工学B</b> ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	准教授	松林 昭 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		並列計算理論A 並列計算理論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松本 翼 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		表面・界面工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	丸山 武男 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		次世代電気エネルギー変換概論B ※ 光波工学A 光波工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	深山 正幸 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		SoC設計基礎論A SoC設計基礎論B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	莊司 泰弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		宇宙機力学入門A 宇宙機力学入門B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	李 睿棟 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		情報ネットワーク特論A 情報ネットワーク特論B ゼミナール・演習 課題研究
専	講師	堀田 英輔 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		適応信号処理A 適応信号処理B ゼミナール・演習 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松本 翼 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		表面・界面工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	丸山 武男 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		次世代電気エネルギー変換概論B ※ 光波工学A 光波工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	深山 正幸 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		SoC設計基礎論A SoC設計基礎論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	莊司 泰弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		宇宙機力学入門A 宇宙機力学入門B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	李 睿棟 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		情報ネットワーク特論A 情報ネットワーク特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	講師	堀田 英輔 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		適応信号処理A 適応信号処理B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松本 翼 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		表面・界面工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	准教授	丸山 武男 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>次世代電気エネルギー変換概論A</b> <b>※</b> 次世代電気エネルギー変換概論B ※ 光波工学A 光波工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	准教授	深山 正幸 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		SoC設計基礎論A SoC設計基礎論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	准教授	莊司 泰弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		宇宙機力学入門A 宇宙機力学入門B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	准教授	李 睿棟 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		情報ネットワーク特論A 情報ネットワーク特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>
専	講師	堀田 英輔 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		適応信号処理A 適応信号処理B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査I</b> <b>異分野研究探査II</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	櫻井 孝平 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		ゼミナール・演習 課題研究
専	助教	張 旭芳 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ゼミナール・演習 課題研究
専	助教	中野 裕介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ゼミナール・演習 課題研究
兼任	教授	浅川 毅 〈令和4年4月〉 理学博士
		エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	阿部 聡 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		凝縮系物理学基礎a
兼任	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B
兼任	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 理学博士
		物質創成化学 I
兼任	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術インター ンシップ
兼任	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習 A
兼任	教授	大塚 浩史 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	張 旭芳 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	助教	中野 裕介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
兼任	教授	阿部 聡 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		凝縮系物理学基礎a
兼任	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B
兼任	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 理学博士
		物質創成化学 I
兼任	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術インター ンシップ
兼任	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習 A
兼任	教授	大塚 浩史 〈令和4年4月〉 博士(理学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中野 裕介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査 I</b> <b>異分野研究探査 II</b>
兼任	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B
兼任	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 理学博士
		物質創成化学 I
兼任	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術インター ンシップ
兼任	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習 A
兼任	教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小田 竜樹 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		ラボロレーション 数理・ナノ物質理工学概論 数理物質科学概論 計算ナノ科学 a 計算ナノ科学 b
兼任	教授	神谷 隆宏 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		フィールド実習 A
兼任	教授	垣内 康孝 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		研究者倫理
兼任	教授	喜成 年泰 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B メカニズムの運動解析と設計 A
兼任	教授	木綿 隆弘 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		技術経営論入門A 技術経営論入門B
兼任	教授	児玉 昭雄 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		ラボロレーション
兼任	教授	斎藤 峯雄 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		計算理学概論a 計算理学概論b 連携科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小田 竜樹 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		異分野研究探査 数理・ナノ物質理工学概論 数理物質科学概論 計算ナノ科学 a 計算ナノ科学 b 連携科目
兼任	教授	神谷 隆宏 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		フィールド実習 A
兼任	教授	垣内 康孝 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		研究者倫理
兼任	教授	喜成 年泰 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B メカニズムの運動解析と設計 A
兼任	教授	木綿 隆弘 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		技術経営論A 技術経営論B
兼任	教授	児玉 昭雄 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		異分野研究探査

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小田 竜樹 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		数理・ナノ物質理工学概論 数理物質科学概論 計算ナノ科学 a 計算ナノ科学 b 連携科目
兼任	教授	神谷 隆宏 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		フィールド実習 A
兼任	教授	垣内 康孝 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		研究者倫理
兼任	教授	喜成 年泰 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B
兼任	教授	木綿 隆弘 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		技術経営論A 技術経営論B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a
兼任	教授	末松 大二郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		理論物理学基礎a
兼任	教授	関 啓明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		インテリジェントロボットA
兼任	教授	高橋 憲司 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		バイオ工学基礎A バイオ工学基礎B
兼任	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		フィールド生物学
兼任	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学
兼任	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		ゲノム生命システム学
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		先端物質化学概論A 先端物質化学概論B ナノ化学概論
兼任	教授	中山 晶一郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B
兼任	教授	名古屋 創 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a
兼任	教授	関 啓明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		インテリジェントロボットA
兼任	教授	高橋 憲司 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		バイオ工学特論A バイオ工学特論B
兼任	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		フィールド生物学
兼任	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学
兼任	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		ゲノム生命システム学
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ナノ化学概論
兼任	教授	中山 晶一郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a
兼任	教授	関 啓明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		インテリジェントロボットA
兼任	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		フィールド生物学
兼任	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学
兼任	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		ゲノム生命システム学
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ナノ化学概論
兼任	教授	名古屋 創 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学a 数理科学b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A フィールド実習A
兼任	教授	長谷川 浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		総合日本語
兼任	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ラボローテーション 地球環境フィールド理工学概論 フィールド実習A
兼任	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	本田 光典 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B
兼任	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B フィールド実習A
兼任	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 工学博士
		マテリアルプログラム序論
兼任	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論
兼任	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A フィールド実習A
兼任	教授	長谷川 浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		環境・エネルギー技術英語応用 エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		異分野研究探査 地球環境フィールド理工学概論 フィールド実習A
兼任	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B フィールド実習A
兼任	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 工学博士
		マテリアルプログラム序論 エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論
兼任	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		異分野研究探査
兼任	教授	中村 慎一 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		異分野研究探査

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A フィールド実習A
兼任	教授	長谷川 浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		環境・エネルギー技術英語応用 エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境フィールド理工学概論 フィールド実習A
兼任	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B フィールド実習A
兼任	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 工学博士
		マテリアルプログラム序論 エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論
兼任	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	ジェンキンス ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A
兼任	准教授	中村 健一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学b
兼任	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修
兼任	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a
兼任	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼任	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	ジェンキンス ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A
兼任	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修
兼任	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a
兼任	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼任	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	ジェンキンス ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A
兼任	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修
兼任	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a
兼任	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a
兼任	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市の地震防災A
兼任	助教	佐川 拓也 〈令和4年4月〉 博士(地球環境科学)
		フィールド実習A
兼任	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	助教	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論A
兼任	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	POZAR NORBERT 〈令和4年4月〉 Ph.D(Mathematics(米国))
		計算理学概論a 計算理学概論b
兼任	准教授	添田 貴宏 〈令和4年4月〉 博士(薬学)
		先端物質化学概論A 先端物質化学概論B
兼任	准教授	山口 孝浩 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	臼井 洋一 〈令和4年3月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市の地震防災A
兼任	助教	佐川 拓也 〈令和4年4月〉 博士(地球環境科学)
		フィールド実習A
兼任	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論A
兼任	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	助教	今村 悠里 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学a 数理科学b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	添田 貴宏 〈令和4年4月〉 博士(薬学)
		物質創成化学
兼任	准教授	山口 孝浩 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	臼井 洋一 〈令和4年3月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市の地震防災A
兼任	助教	佐川 拓也 〈令和4年4月〉 博士(地球環境科学)
		フィールド実習A
兼任	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論A
兼任	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大谷 マーシャ ＜令和4年4月＞ BA in Psychology (米国)
		国際プレゼンテーション演習 環境・エネルギー技術英語基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	齋川 賢一 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		理論物理学基礎a
兼任	助教	澤野 達哉 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		衛星システム 衛星設計開発B
兼任	助教	有元 誠 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		衛星システム 衛星設計開発B
兼任	助教	石野 咲子 ＜令和3年12月＞ 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	講師	大谷 マーシャ ＜令和4年4月＞ BA in Psychology (米国)
		国際プレゼンテーション演習 環境・エネルギー技術英語基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	齋川 賢一 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		理論物理学基礎a
兼任	助教	澤野 達哉 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		衛星システム 衛星設計開発B 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼任	助教	有元 誠 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		衛星システム 衛星設計開発B 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼任	助教	石野 咲子 ＜令和3年12月＞ 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	講師	大谷 マーシャ ＜令和4年4月＞ BA in Psychology (米国)
		国際プレゼンテーション演習 環境・エネルギー技術英語基礎
兼任	教授	林 透 ＜令和4年4月＞ 博士(教育)
		知識集約型社会とデータサイエンス
兼任	教授	山本 茂 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		数理・データサイエンス・AI基礎
兼任	教授	松本 宏一 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		凝縮系物理学基礎a
兼任	教授	三浦 伸一 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		連携科目
兼任	教授	米徳 大輔 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		宇宙物理学a 宇宙物理学b





(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・教員の異動により、専任教員に松田昇也を追加。
- ・教員の異動により、専任教員の鄭振牟、櫻井孝平が就任辞退。
- ・教員の異動により、専任教員の鄭振牟を兼任教員に変更し、担当授業科目を変更。
- ・博士論文基礎力審査の明確化のために新設された「博士研究調査」を専任教員の担当科目として追加。
- ・担当教員の見直しにより、専任教員の秋田純一、石島達夫、三好正人、八木谷聡、山根智、井町智彦の担当授業科目を変更。
- ・授業科目名の変更により、専任教員の八木谷聡の担当授業科目を変更。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の浅川毅、大塚浩史、齋藤峯雄、末松大二郎、名古屋創、本田光典、中村健一が就任辞退。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の小田竜樹、永谷広久、長谷川浩、山岸忠明、太田明雄の担当授業科目を変更。
- ・授業科目名の変更により、兼任教員の小田竜樹、喜成年泰、木綿隆弘、児玉昭雄、高橋憲司、平松良浩、渡邊哲陽の担当授業科目を変更。
- ・昇任のため、兼任教員の畑光彦の職名を教授に変更。
- ・昇任のため、兼任教員の松浦哲久の職名を教授に変更。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員に中村慎一、米田隆、小島治幸、西山宣昭、松島大輔、小原功任、浅川直紀、本多了、POZAR NORBERT、添田貴宏、山口孝浩、臼井洋一、今村悠里、齋川賢一、澤野達哉、有元誠、佐川拓也、石野咲子が就任。

【令和5年度】

- ・教員の退職により、専任教員の三好正人が退職。
- ・教員の異動により、兼任教員の鄭振牟、専任教員の中村伊南沙、張旭芳が辞任。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の阿部聡、児玉昭雄、高橋憲司、中山晶一郎、中村慎一、小原功任、浅川直紀、POZAR NORBERT、今村悠里の担当取り消し。
- ・担当教員の見直しにより、専任教員の秋田純一、石島達夫、上野敏幸、蚊戸宣幸、田中康規、丸山武男の担当授業科目を変更。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の、小田竜樹、平松良浩、渡邊哲陽の担当授業科目を変更。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の、林透、浅川直紀、山本茂、武田真滋、松本宏一、岩崎宏、菊川雄司、黒田浩介、三浦伸一、米徳大輔、當摩哲也、佐藤正英、前多肇、古山溪行、前田勝浩、西村達也、本田光典、佐川拓也、村田晶、立矢宏、高橋康史、林寛、市川公善が就任。
- ・新規に設定された「異分野研究探査I」、「異分野研究探査II」を秋田純一、石島達夫、猪熊孝夫、上野敏幸、笠原禎也、蚊戸宣幸、北川章夫、田中康規、藤解和也、徳田規夫、松谷茂樹、満保雅浩、八木谷聡、山根智、井町智彦、今村幸祐、尾崎光紀、川江健、桑村有司、唐堂由其、南保英孝、藤崎礼志、松田昇也、松林昭、松本翼、丸山武男、深山正幸、莊司泰弘、李睿棟、堀田英輔、中野裕介の担当科目として追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
9	6	9
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
15	16	1	3	35	0	14	15	1	1	31	0
(15)	(16)	(1)	(3)	(35)	(0)						
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
35	15	0	53			34	15	0	79		
(35)	(15)	(0)	(53)								
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
14	16	1	3	34	0	15	16	1	3	35	0
[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
37	15	0	79			38	16	0	79		
[2]	[0]	[0]	[26]	[3]	[1]	[0]	[26]				

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{34}{35} = \boxed{97.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	講師	鄭 振牟	R5.3	選択	圏論と図数型プログラミングA	②	他機関への就職のため就任辞退（5）			
				選択	圏論と図数型プログラミングB	②				
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）				
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	0	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	0	科目	計	2	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	中村 伊南沙	R5.3	選択	トポロジー概論A	①	他機関への就職のため就任辞退（5）			
				選択	トポロジー概論B	①				
				必修	ゼミナール・演習	①				
				選択	課題研究	①				
				選択	博士研究調査	①				
2	助教	張 旭芳	R4.10	選択	課題研究	①	他機関への就職のため就任辞退（5）			
				必修	ゼミナール・演習	①				
				選択	博士研究調	①				
合計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）				
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）				
3	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	4	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	6	科目	計	2	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{35} = 8.57\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	三好 正人	必修	ゼミナール・演習	①	R5. 3. 31付け65歳で定年退職 (5)				
			選択	課題研究	①					
			選択	博士研究調査	①					
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当初計画では専任教員を35名としていたところ、R5. 5. 1時点で4名減の31名となっていた。R5. 6. 1に特任助教2名を、R5. 9. 1に准教授1名を専任教員とし、現在、34名(当初計画の97%)となっている。また、R6. 4. 1採用の准教授又は教授を1名公募している。これにより、R6. 4. 1時点で当初計画の100%である35名の専任教員を確保できる。加えて、R6. 9. 1には准教授を採用するべく、教員選考を既に終えており、現在、採用手続きに入っている。これにより、R6. 9. 1には、当初計画以上の教員を配置することとしている。また、現状において、退職した教員が担当していた授業科目のうち、全専任教員が担当する科目以外の2科目は、別の専任教員が講義を担当しているため、教育研究上の支障はない。加えて、研究指導を主に担当する教員については、上述のとおり順次補充するとともに、学生に対しては、シラバスにおいて周知しているため、教育研究上の支障はない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
    - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
    - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。
    - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】  
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<大学院自然科学研究科 電子情報通信学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"><li>a 委員会の設置状況 教育方法改善委員会</li><li>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和3年度は7回実施 令和4年度は4回実施</li><li>c 委員会の審議事項等 教育方法改善に係る所事項審議・決定</li></ul>
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・ FDシンポジウム
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

- ・ 対面とオンラインの併用で実施
- ・ オンラインで実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 令和3年5月7日（金）（15名）
- ・ 令和4年3月23日（水）（103名）
- ・ 令和4年5月13日（金）（19名）
- ・ 令和5年3月27日（月）（68名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

新任教員研究会、FDシンポジウムでの共有で得られた授業方法、学生への教え方、

オンライン授業やAI学習の有効利用、コロナウィルス感染拡大の学生への影響、今、学生の「学び」を質保証するために何を求められているかなどをフィードバックして継続的な授業改善を実施。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施（年4回、各クォーター終了後）

b 教員や学生への公開状況、方法等

理工学域Webサイトに、字類ごとの集計結果を掲載（授業担当者はWebから担当科目のアンケート結果を参照し、授業改善に活用する。）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
施設整備，教員配置，カリキュラム設計など，設置計画どおりに達成している。
- ② 自己点検・評価報告書  
学内規程に基づき，定期的に，全学的な自己点検評価及び部局の自己点検評価を実施することとしている。
- a 公表（予定）時期  
・自己点検を令和5年末までに公表予定
- b 公表方法  
・大学Webサイト上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画  
・令和3年度に，評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し，適合の認定を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和5年度）
- a 公表予定の有無 [ (有) ・ 無 ]
- ≪ aで「有」の場合 ≫
- b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]
- c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]
- ≪ aで公表「無」の場合 ≫
- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。